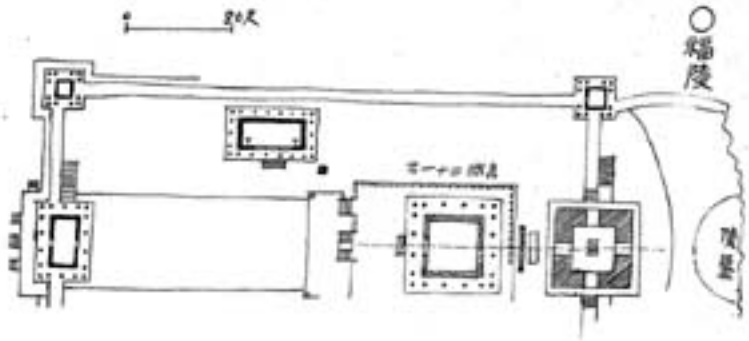
Copyright 日本建築学会

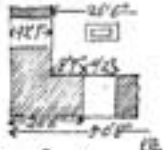
Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

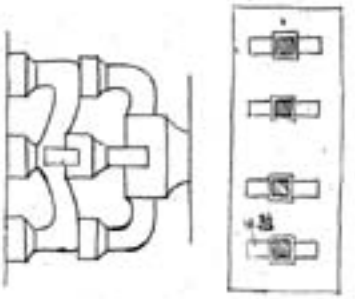
Copyright 日本建築学会

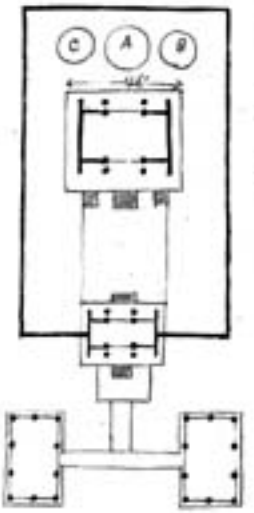


Copyright 日本建築学会



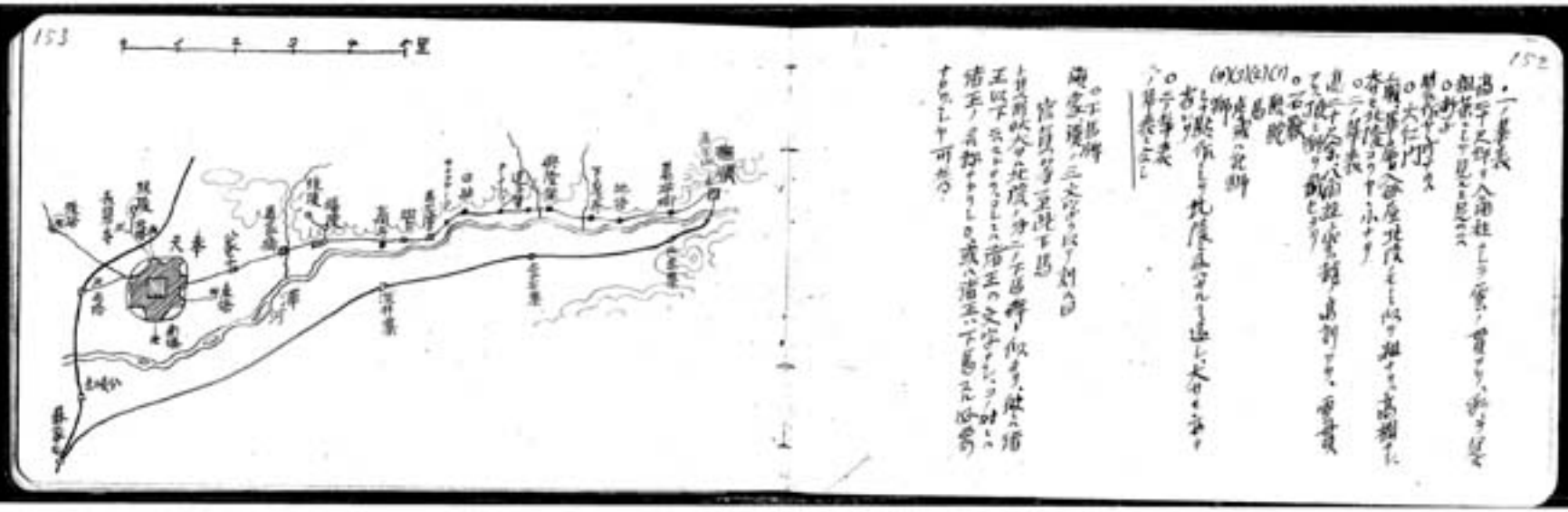
Copyright 日本建築学会





Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会



Copyright 日本建築学会

○振鐘

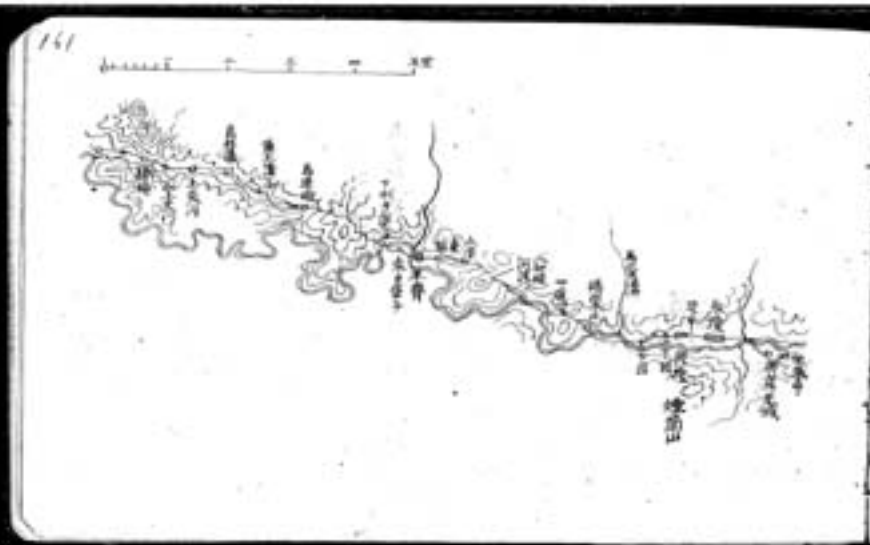
Copyright 日本建築学会

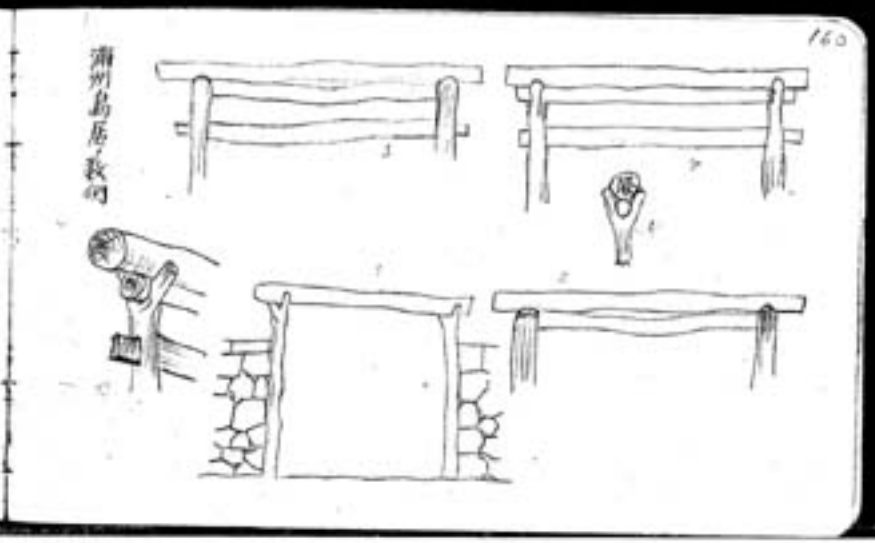
Copyright 日本建築学会

○下総門
市場寺

御用長方紙屋

Copyright 日本建築学会





Copyright 日本建築学会

長建暦ノ春ノ不禅ヲリ左人宮ノ創ヲ

○興宗老城

自然ノ丘ヲ城郭トシテ造リ、大サ四方五町ヲ四方ノ内アリ、櫓又ハ石壁ナル土壁ナルヲモシ、東方遠ヲトシテ飛騨ヲ、門ハ四一門、厚切高サ七尺ヲ以テ内ト仕武ヲ

○興福宮、頃安六町ノ丘ノ上ニ

慶成ス五年ノ神殿ニ義ヲリ

殿ノ乾屋二十五年 三十五年

コノ地清ノ所相地ニハ

宮ヲ天皇ノ殿ニ為ルヲ

○地載手

東ノ高クアリ、清ノ所ノ形式ヲ在セリ

A内殿、B錬殿、C御殿、D中門、E地殿、F相

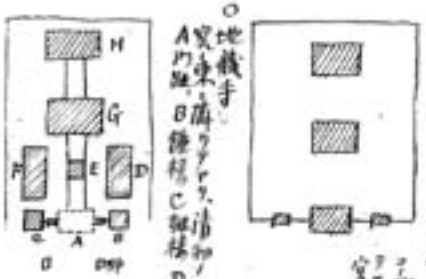
上殿動仕ノ事動

G八殿、H五十八屋

廊H八神殿ヲ

後八ヲ丁寧

ニ護殿ヲ



Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

○下馬碑

五ヶ所ノ文字ハ以下ノ如ク

薩摩王以下皆見人事業此下馬

西郷文字

堂本之字

岡田文字

○碑銘

別ノ記アリ

○大紅門

屋根ハ瓦葺ニ鯱ノ飾

最近式見タル是ニ

○碑銘

別ノ記アリ

○大紅門

○表御門

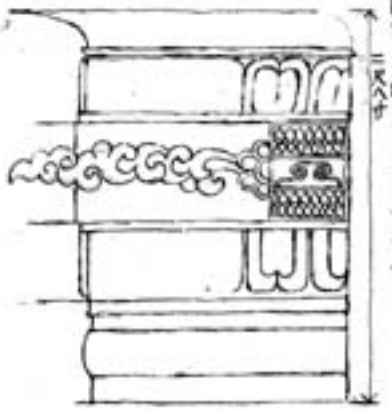
三間二間二重櫓

○表御殿

○表西殿

○殿

○表西殿

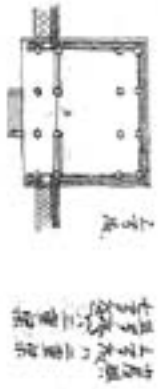


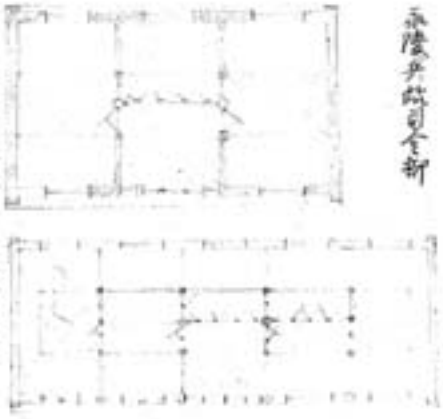
Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

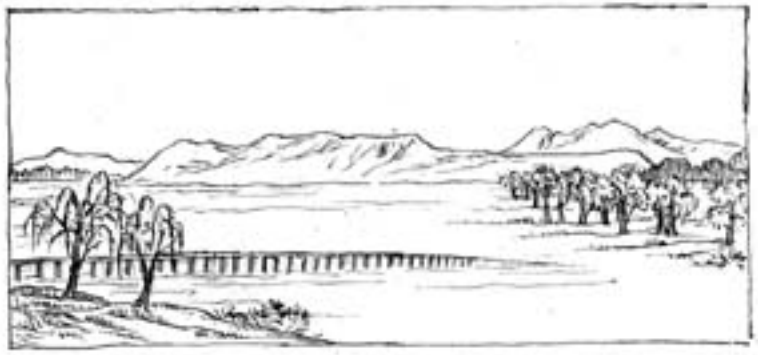
Copyright 日本建築学会

⑥ 住屋





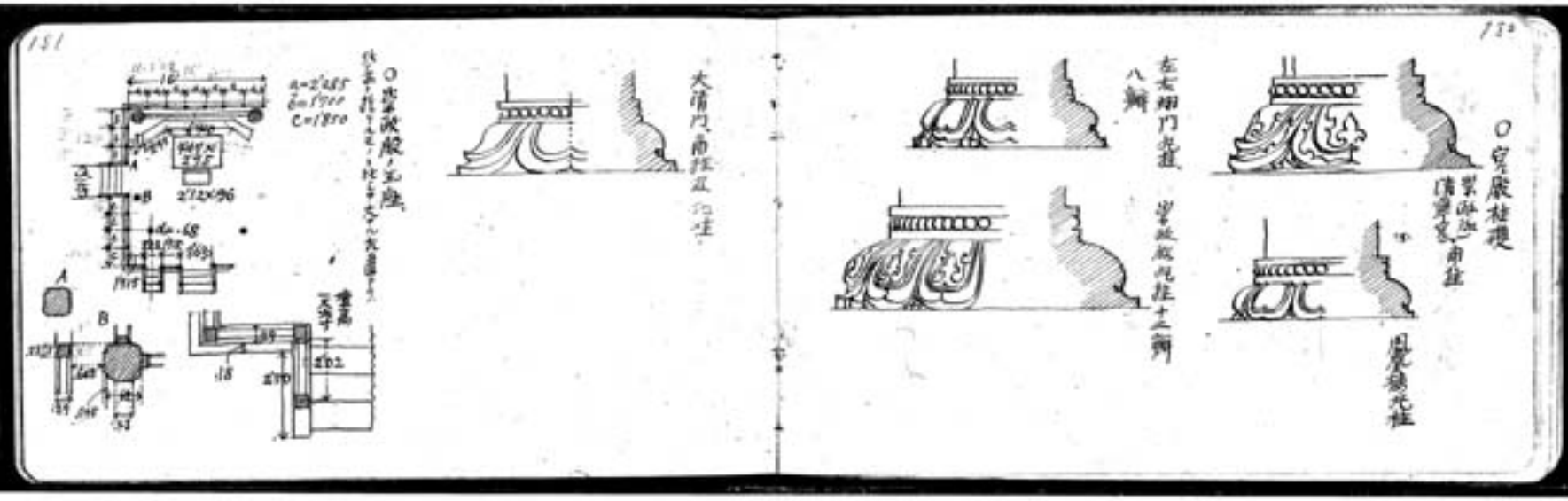
Copyright 日本建築学会



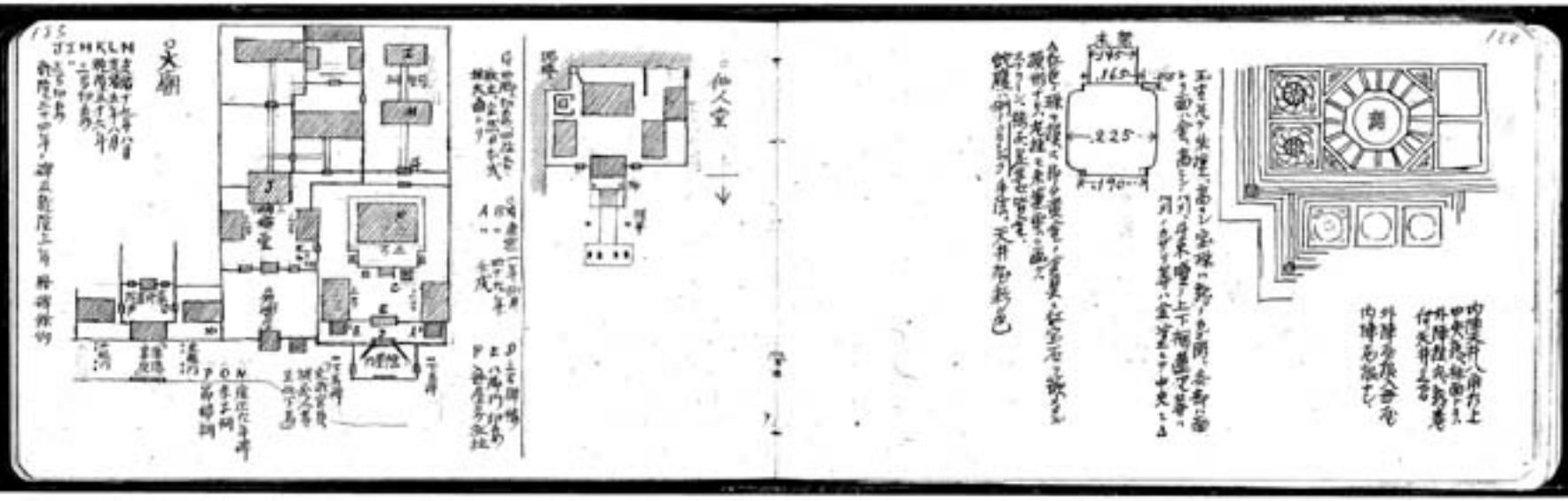
Copyright 日本建築学会

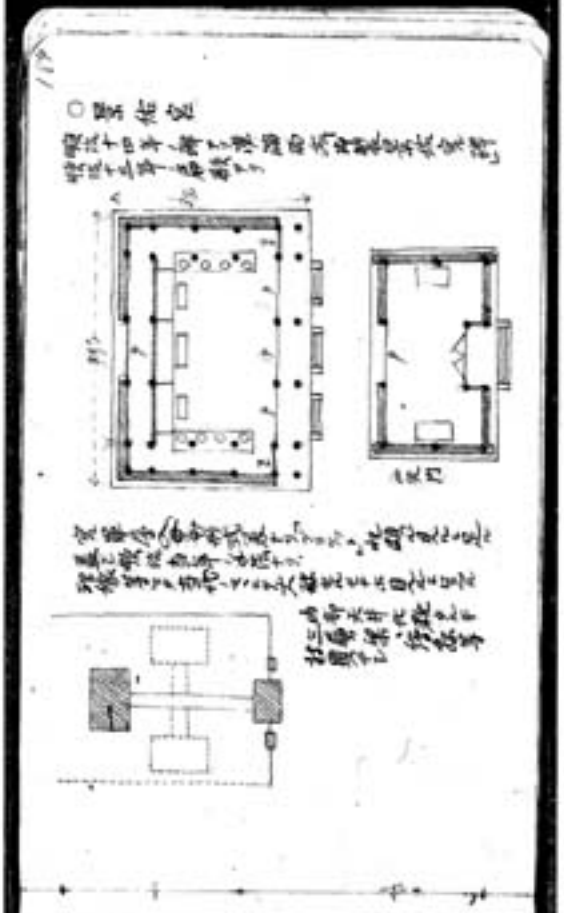
仙金寨

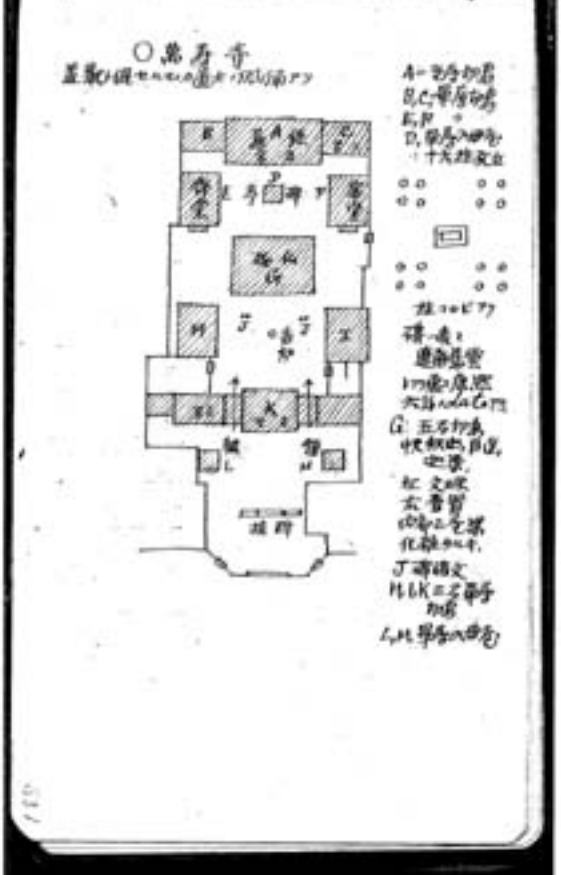
Copyright 日本建築学会



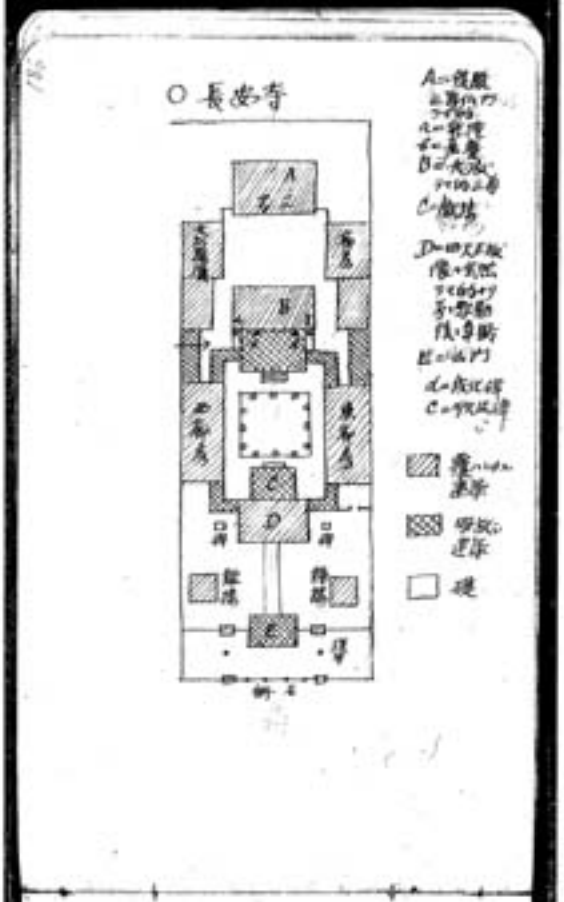
Copyright 日本建築学会

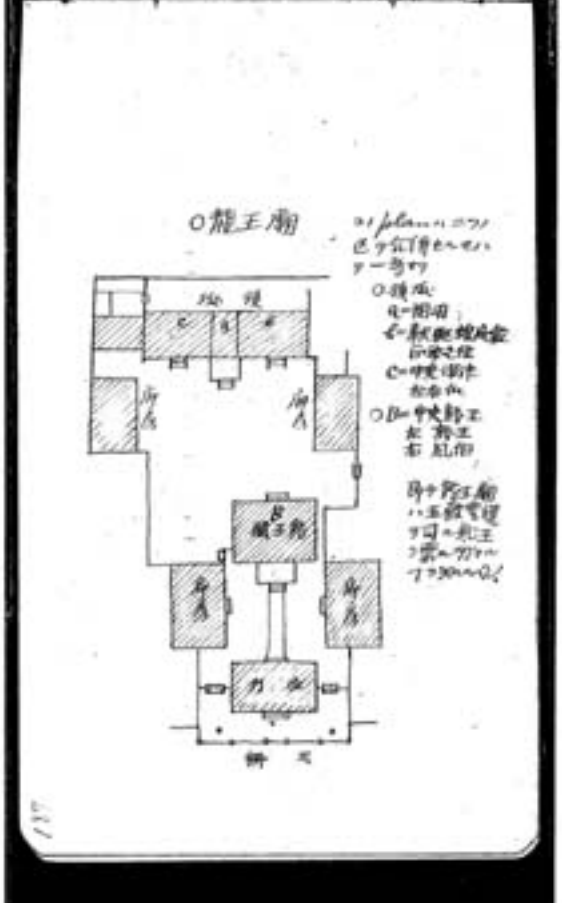




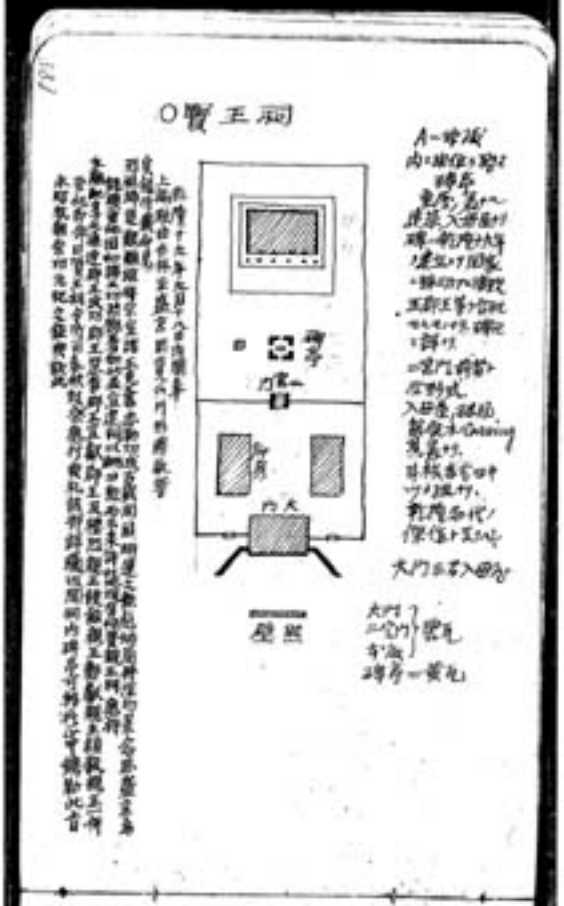


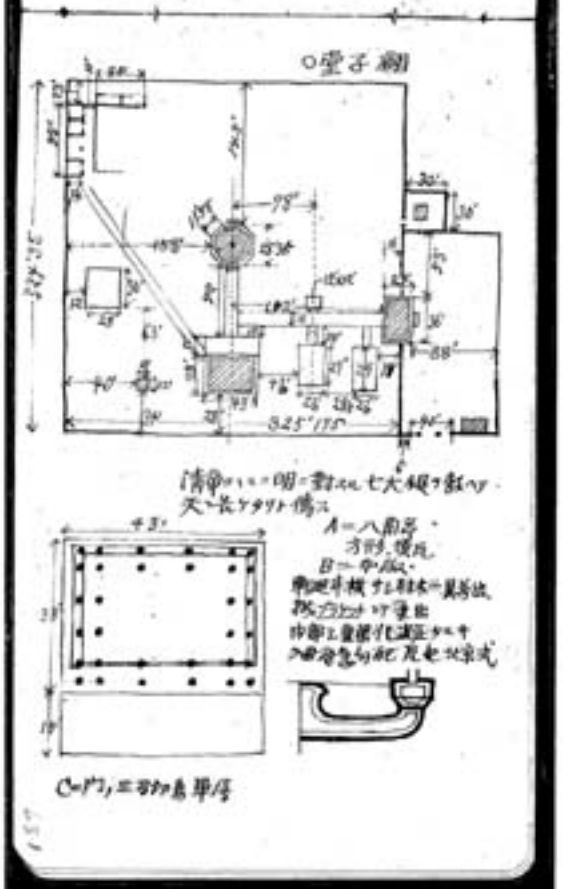
Copyright 日本建築学会



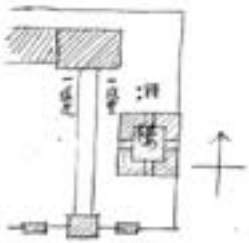


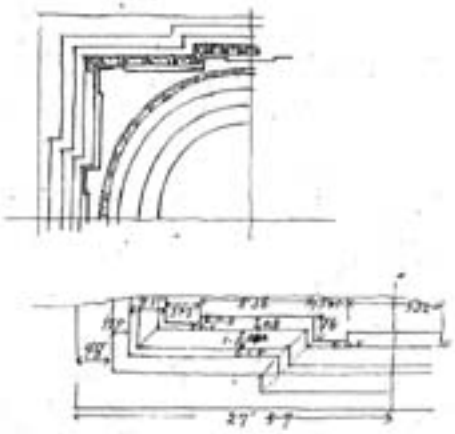
Copyright 日本建築学会


○寶王洞
壁畫


○靈子洞

Copyright 日本建築学会





○喇嘛塔

東西南北ニ鎖ニナ八ヶ所

(一)基礎、第一段ノ上ニ敷石ノ基壇アリ、下段四角形ニシテ上段ニ敷石ヲ上ニ逆円形ヲ上ニ乗セ其不同ニシテ
幾何ヲ以テ石段(四)ヲ上ニ下ト同様ニ逆ニシテ
タリ、東ハ右段(四)ヲ上ニ下ト同様ニ逆ニシテ
基ヲ上部ノ上面ニ又一段アリ上ニ円形ヲ置ク

Copyright 日本建築学会

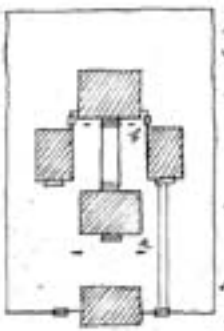
(ハ) 円形

(ニ) 珠形

(ホ) 丸柳

○関帝廟

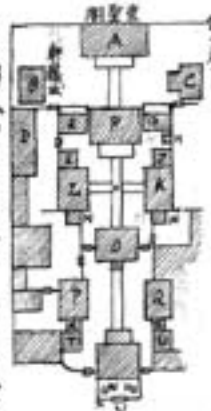
(甲) 興寺ノ西北二所



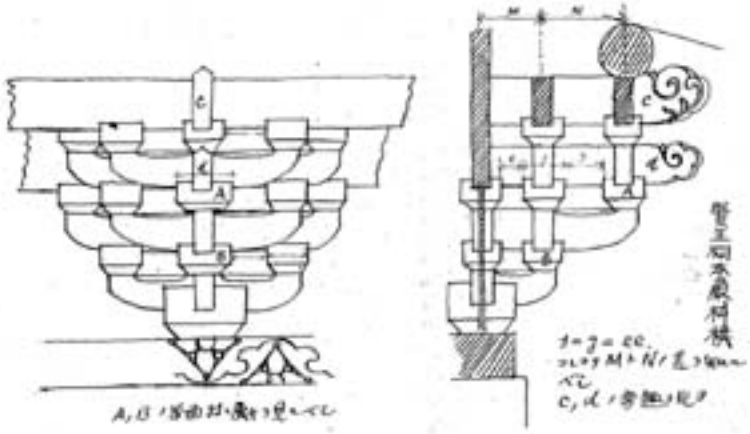
一覽

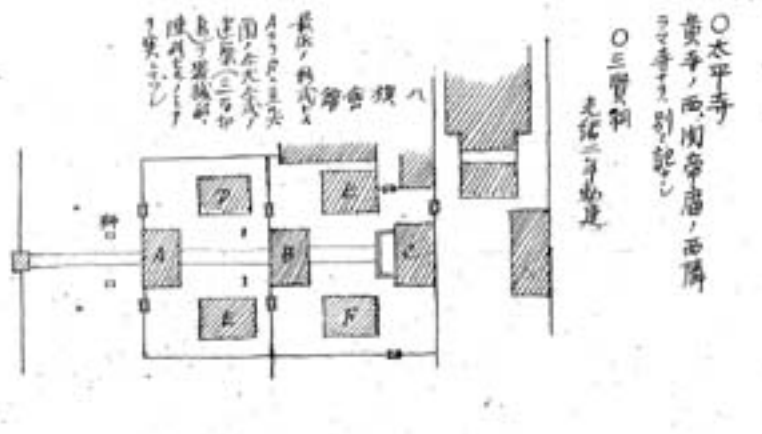
(乙) 黄寺ノ西隅

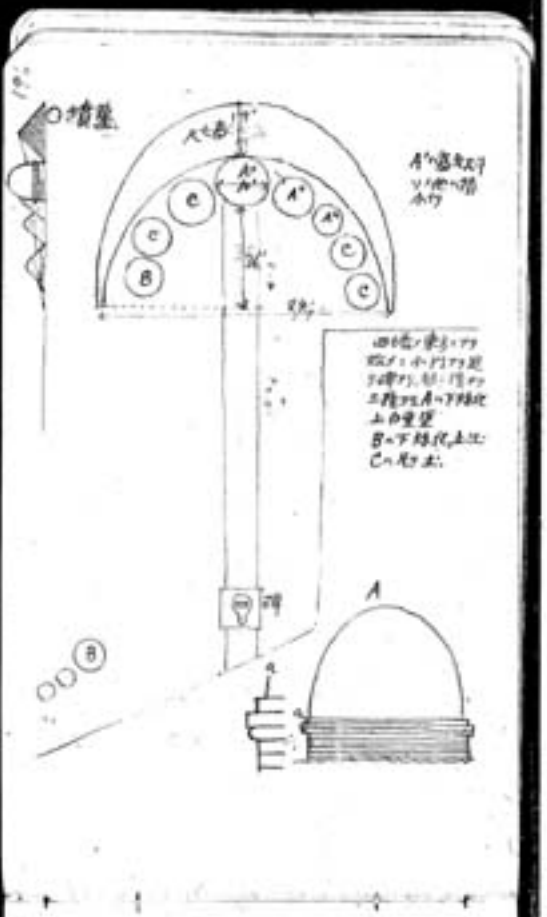
(丙) 小西足門外



Copyright 日本建築学会

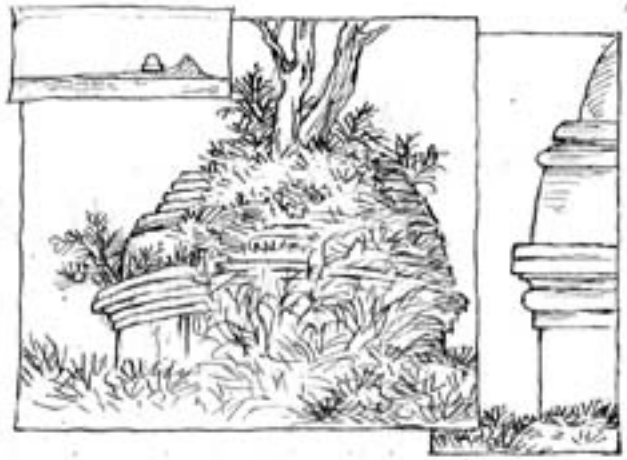






Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会



○寺天城壁

(ハ)城壁

(ロ)通堀(堀口及殺堀)

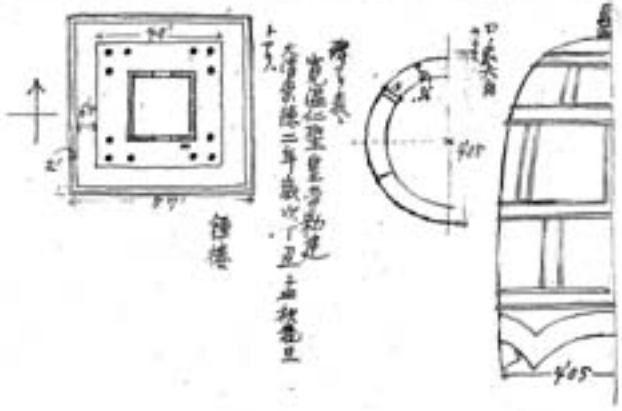
(ハ)門樓

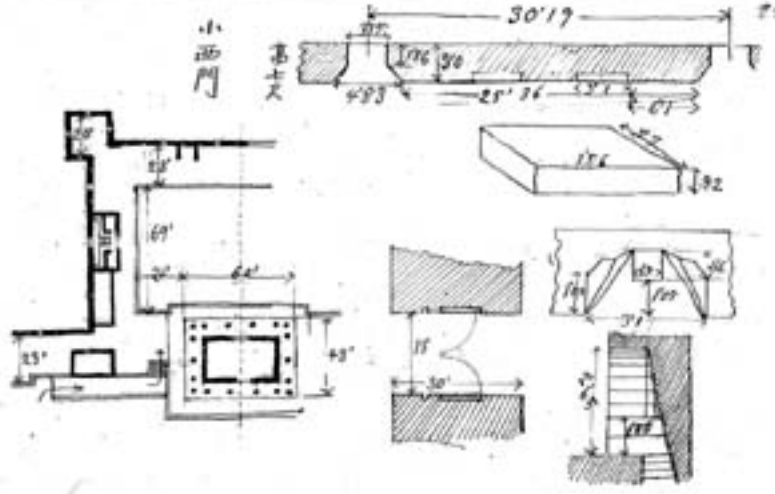
八門上共重層入母屋ノ樓アリ、四隅亦同樓アリ、皆大鉄ヲモテ小西門ノミ特装セリ其外或ハ示セリ

(ホ)鉄橋及鐵橋

北京城ノ前後ニ並立セルモノアリ、共ニ石方形ノ基壁ノ上ニ重層入母屋ノ主楼ヲ建ツ、下八字ヲナシテ道ヲ通ス。

Copyright 日本建築学会





Copyright 日本建築学会

○西安附近唐陵所在地

驪山

驪泉

蒲城縣

咸陽縣

三原縣

唐陵ハ凡テ自然ノ丘ヲ利用シ、墳ハ便ニ、ツ上ニ
構ヘタル小陵部ヲ造リ、
其小陵ノ後ニハ石獅五駝馬ヤリ、
太宗ノ陵ニハ六駿馬ヤリ、
墓前ノ階上ニ有名ナル紀功碑アリ
墓前ノ碑ハ今テ七アリ

乾陵ノ平面ニ王陵類ト共ニ
乾陵ノ平面ニ王陵類ト共ニ

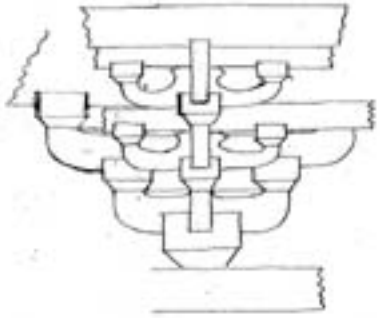
○黄寺本殿

a, b, c ニ柱
d, e ハ大梁
天井ハ格子ニ、d, e 梁ノ東西ニ
南北七本、c ノ中央ニ
四方ニ斜ニ
左右ノ壁ニ、全ニハ
大梁ノ南北、b, c ニ
ノ強ニ花模様ヲ、尺ヲ北
壁ニ、其ノ斜ニ出ル時ニ
サ、ヲ尺ノ上ニ Gallery
ヲ設置シテ、小仏像ヲ

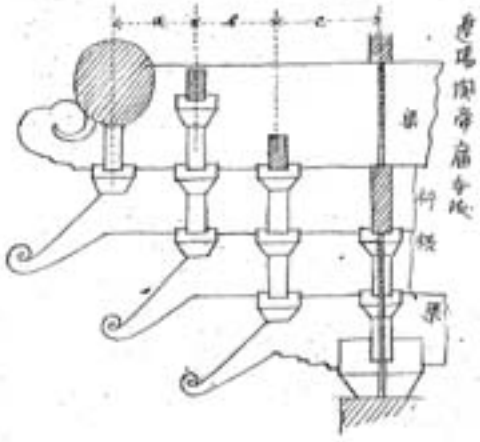
斗栱側面

b > a
A = 大斗
B = 小斗
林間塔、側面

Copyright 日本建築学会



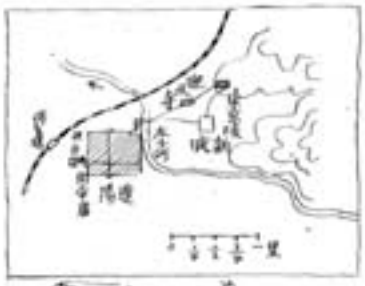
Copyright 日本建築学会



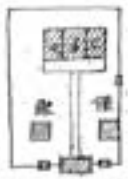
第一圖
C-D間ノ屋ノ平面

唐鳴鶴寺扁額

Copyright 日本建築学会



城ハ東西六町南北五町ヨリ西ニ門東南ハ矢ノ門ニ数ヲ設ケ接ヲ大ナル長一天二寸幅六寸五分乃至寸八分九寸四分二ヤ



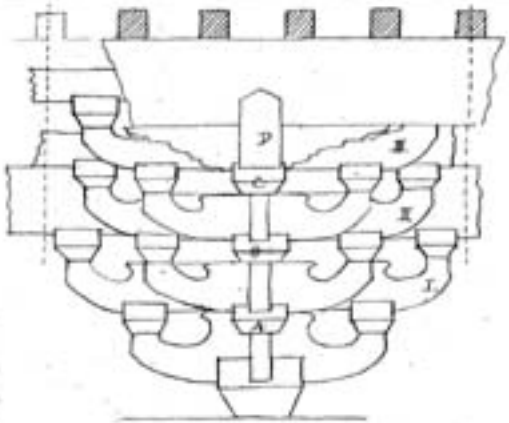
○遼陽新城（東京城）

新城ハ清太祖（天命元年）始メテ明ヲ天聖ノ五ヲ別開シ之ヲ多方多事ヲ入ルルモノ山河ノ要害ニ

城内今遼陽ヲ七二間廣西南陽ノ高地アリ

ブランヒ如シ

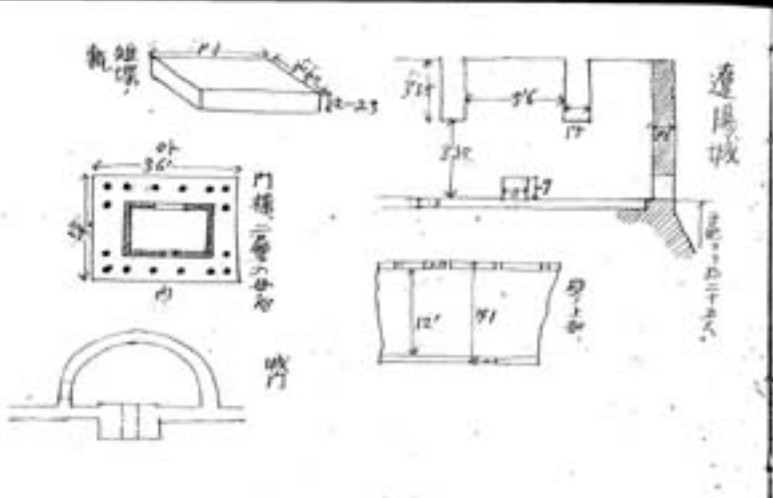
中央ニ
a 王宮殿
b 殿々殿
c 離王殿

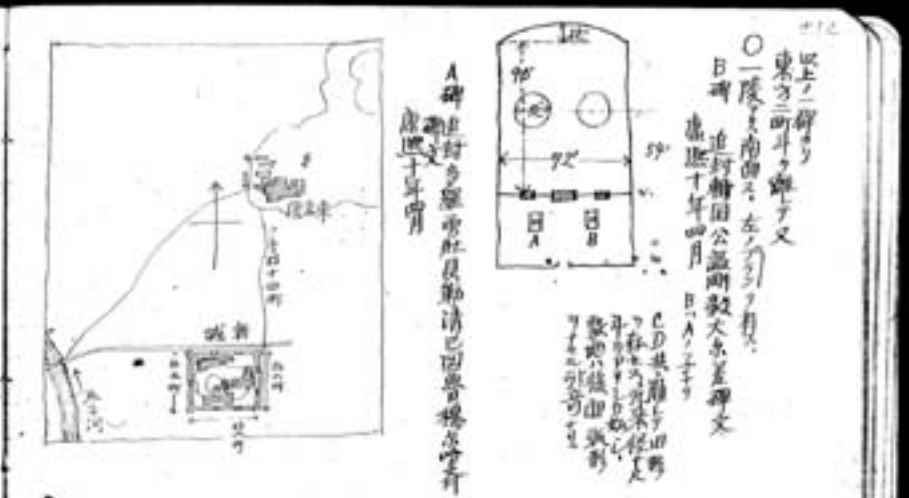


本図ニハ基面廣ク
ヒ明ケ方ヲ強ハ
ヲ強ヒタル
エ 明ケ城ヲ此ノ
ヲエ ハ全部長ク
設ケル
意味ハ一寸明ケ
ル 〔見〕
ル一ノ科ト豊本ハ
ハ関係ナリ（ヒモ
使フ為ハ出来ル
ハ）

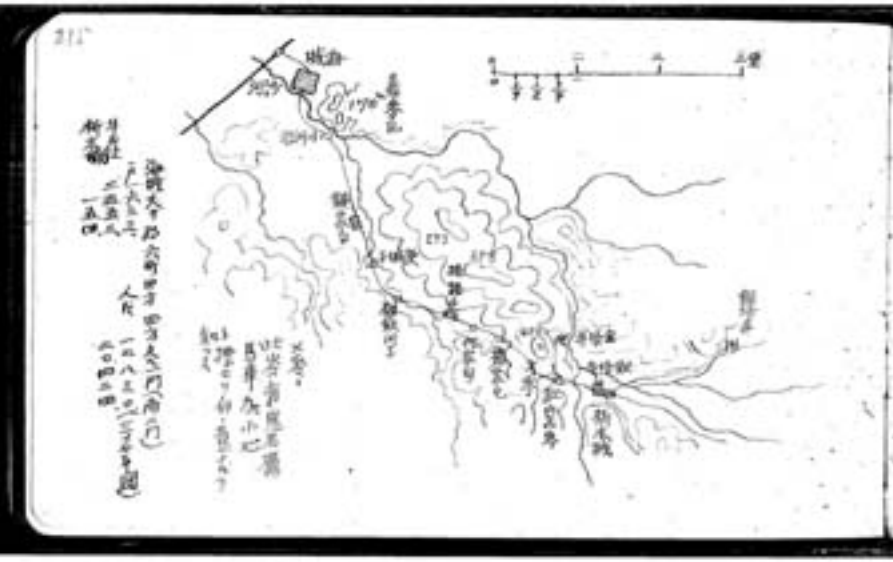
Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会





Copyright 日本建築学会

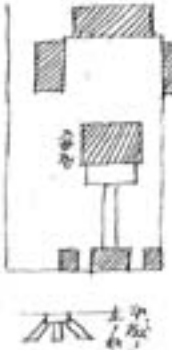


里程表

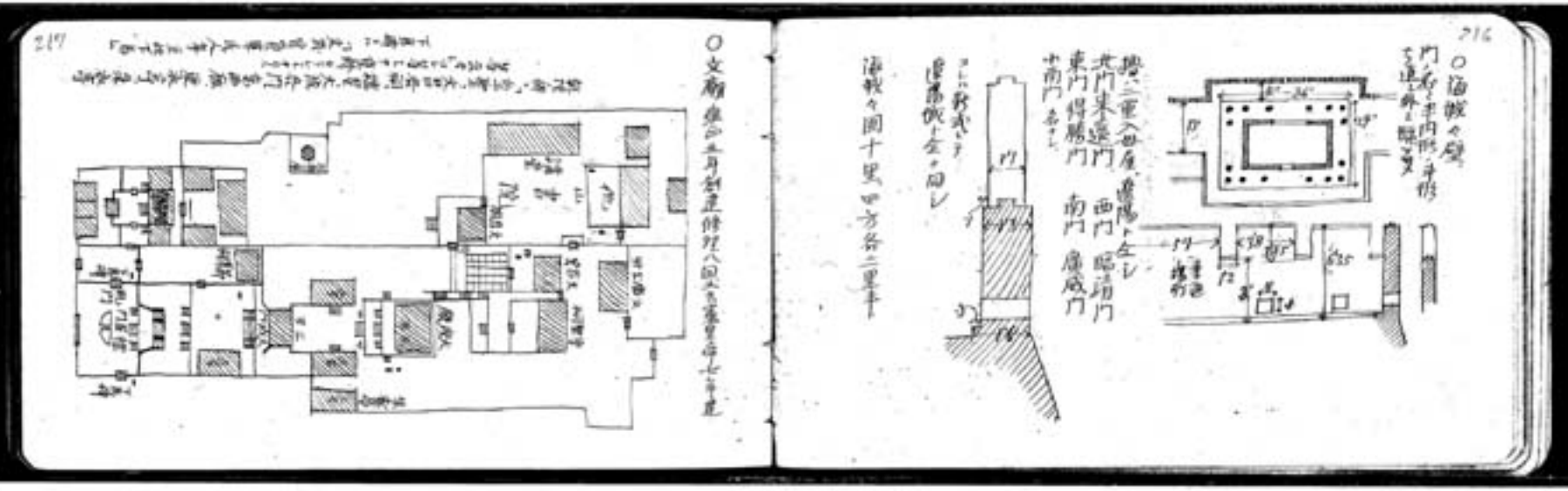
大連	金州	=	30.1
〃	旅順	=	170.5
〃	大石橋	=	179.6
〃	海城	=	165.5
〃	鞍山	=	206.2
〃	奉天	=	294.7
〃	撫順	=	227.3
〃	開原	=	311.1
〃	昌図	=	350.6
新京	熊岳	=	350
大連	瓦房	=	327
南関嶺	孟家	=	304
大石橋	営口	=	19.0

○海城

白衣寺



Copyright 日本建築学会



Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

○接引寺

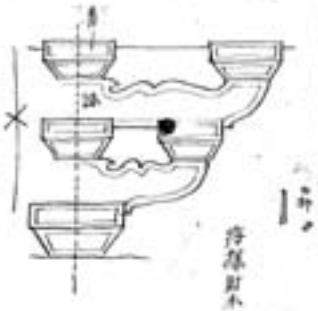
○山門

門内の神像てう、有、黒色ニテ唐、左ハ赤色ニテ唐、
右手ニ杖、左ニ金剛杵ヲ有手ニカケテ肥ニテ、左ハ
右手ニ杖、左ニ金剛杵ヲ有手ニカケテ肥ニテ、左ハ
両者共ニ立ニ黒ク彫ツタルガ日本ト異ナリ
上ニ身体ニ、ヒラ肩ニ羅衣ヲ着ス
○天王殿
又第四天王ヲ安置シタルヲ以テ名ケタル

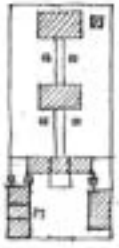
○伽藍
五尊三尊ヲ調文ノ如シ、拙作見ルベカラズ

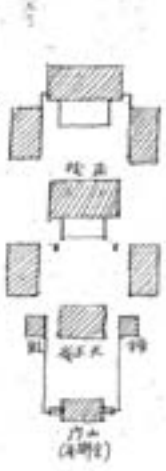
○接引寺建立碑記
天啟壬戌孟春彫接引寺命山門也予新、大和三尊
如来、右体院所収也、其寸法、
乾隆二年歳次丁巳四月初八日
○重修接引寺如意碑記
接引寺者係平南王之四子也、殿堂建乃寺之
乾隆十五年
○建天王殿金剛殿、鐘鼓楼記
乾隆四十八年
○建接引寺碑記
天王殿五間金剛殿、五楼、鐘鼓山門、
乾隆二十八年

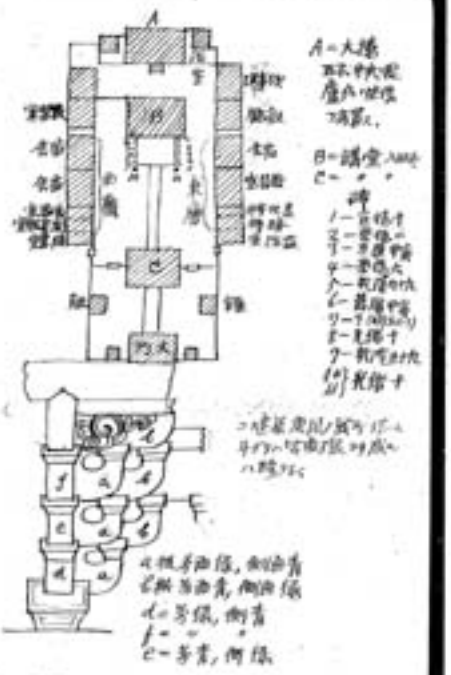
○三學寺

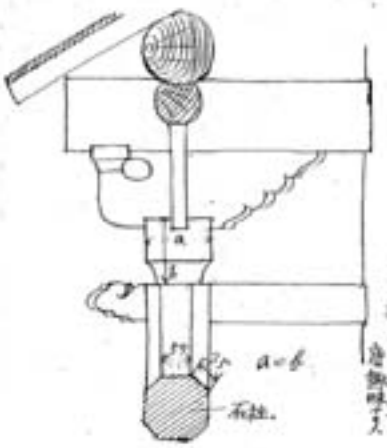


○敬親王專祠









Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

○金堂寺（金堂大師堂）

塔 三重（七層ノ一部）

八角十三重ノ高部ニ組ミ屋根ノ形ヲ全ク知ルベキモ
重層ノ形式ハ比較ヲ大ニ異ナリ一層ノ長サ三
天ニ達スル程ニ二層ノ高サ
下部ハ二層ノ高サ
上部ハ二層ノ高サ
八角ノ各角柱ハ
加藤氏ノ建築ニ
左右ノ間ハ
左右ノ天井ハ

斗栱ハ全ク力ヲ入ル
大木ノ二重ニ
用ヒタリ
二層目ニハ小形
二層以上斗栱ナキ

Copyright 日本建築学会

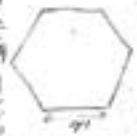
○至堂ノ神殿

一間ニ三段ノ石ヲ入レ其中央ニハ石ヲ敷キ四隅ノ柱ノ出サリ二重ノ板ニ三ツヲ上ニ横板ヲ重ネ五寸ニ

○銀塔者

創立不詳哉ニハ唐代貞観ヨリアリト傳フ

六角九重、基壇ヨリ一面五尺一寸



○鈴塔

六角七重伊勢ノ

一面基礎ヨリ八尺下ハ石ハ高欄ヲ

鐘楼、南部南ノ鐘楼、姫路ニ五尺二寸

基六寸 一尺五寸

日本ノ鐘塔、五輪塔等ヨリモヒロク似タルカ

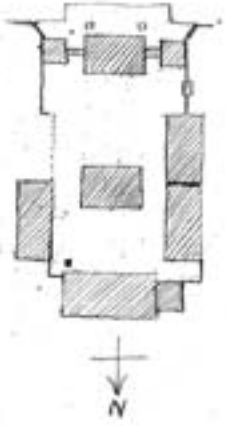
Copyright 日本建築学会

○関帝廟（海城西門外）

山西省の特色を帯びたるプランにて、ちがき、其スタイルは中清朝の式にて全部木造、色彩あざやか、斗栱中曲線を以て作り、軒返りも強く、プロポーションも高く、建物の上部は復雑なる装飾と中央に加へたり。

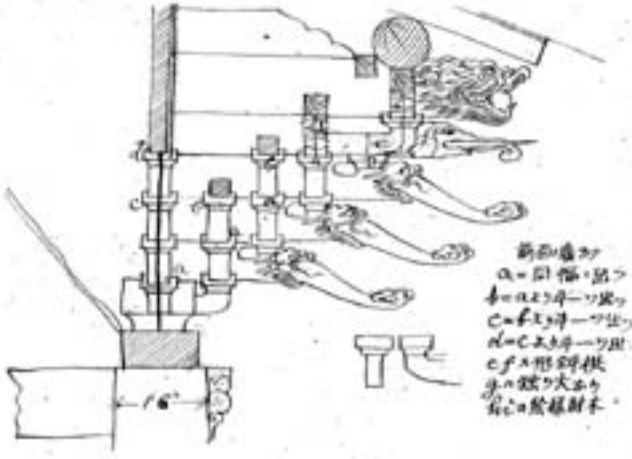
本殿の内部は美なり、殊に内の大梁凡て美なり、殿軒部突出し、殿内は新彫し皆みな美なり。

道路を隔てて、戯場あるあり、入母屋……



○三塔寺

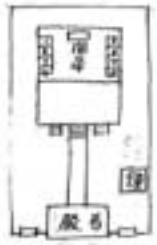
三塔寺講堂斗栱

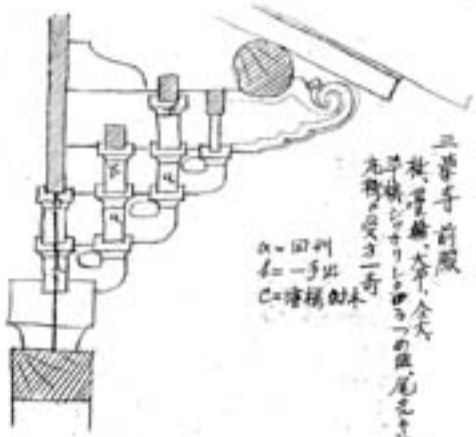


Copyright 日本建築学会

○熊岳城

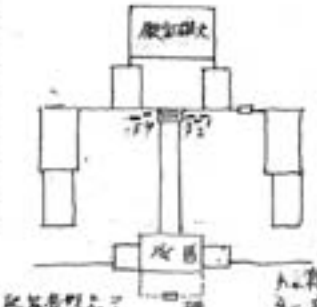
○関帝廟





Copyright 日本建築学会

○道林寺

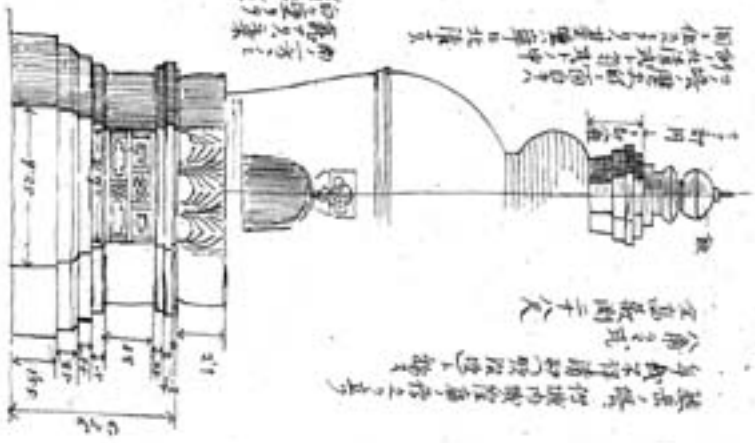


神
ハ＝[illegible]
ヲ＝成比17([illegible])
ヨ＝[illegible]7
ニ＝[illegible]30
イ＝[illegible]

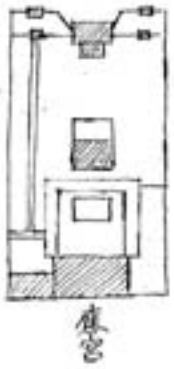
○大神廟

○[illegible]廟

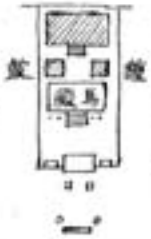
○三[illegible]



Copyright 日本建築学会



○地蔵寺



○閻羅廣

金剛

今次ノ減坪及ビ新ニ付ル定額表

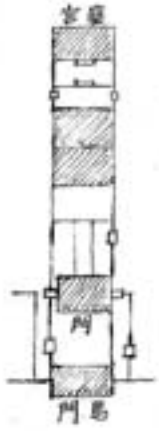
	七月分	定額	合計
本堂	9.75	4.18.7	
釈迦	6.13	2.8.77	
阿弥陀	11.61	16.78	
仏壇	.7	2.44	
護摩	2.71	4.64	
作り	1.14	3.47	
四ツ	2.54	2.5	
四ツ	4.87	2.8	
白洲	.8 8	1.36	
白洲	.1 3	1.27	
白洲	.6 8	1.04	
白洲	.5 3	.74	
白洲	.5 7	.86	
白洲	.4 5	.51	
裏庭	.5	.32	
丁場	.6		
丁場	.11		
丁場	.3 5		

Copyright 日本建築学会

○東嶽廟
（天齊廟背泉寺）

ABは地獄変相図

○城隍廟



雍清寧十一年乙巳三月日
就海寺金鐘鑄成入
重百五十斤棟梁
寺主大師智觀
大匠金水
副大工小　未詳

筑前州承天寺常楽
崇院之喚鐘
明應七年戊午首夏
十七日
待真為時仙用勧化
願之
守塔比丘東陵

雍清寧十一乙巳三月日就海寺金鐘鑄成
入重百五十斤棟梁寺主智觀大匠金水
副大匠……未詳
筑前州承天寺常楽院之喚鐘明應七年
戊午首夏十七日待真為仙用勧化願之
守塔比丘東陵

諸鐘銘拓之部　長熱室

Copyright 日本建築学会

夫日ノ直宜弁剖
ヘ豆益牛劫ノ乞又
北狩由砥弔止鬼
元弗鳧卞後殞矣
弘安第五元亡戦仲秋二十日誕里末清後謹撰

厚さ一寸二分五厘

○京都博物館
大谷伯出品中央ロシア遺品

此に陳列セル物品ハ本願寺法外瀛洲僧之那土豆其断想(印度)
庫車(即チ古ノ亀茲天山麓)等ノ地方ヨリ西安
府ノ程ニ帰朝ノ際獲来シタルモノナリ此ノ地方ハ
仏形ノ彫塑ヲ以テ唐時代尼千二百年前
ヨリ西々教徒ノ為ニ破壊セラレシハ凡七百年以前ノモノナラン。
此遺品ハ孟子九百年以前ノモノナラン。
庫車地方ノ千仏洞ナルハ高地ニアル洞窟ニシテ其
製作多クハ以テ漢人之ヲ千仏洞ト称シ土人之ヲ
ヤルカイト称ス洞大小(ナラザルモノ凡高十八呎奥行
三十九尺ニシテ土砂埋没セリ之ヲ発掘スルニ凡四
五尺ノ下ニ於テ此彫塑像其他種々埋没品
ヲ得タルナリ洞ニ埋ルル金箔ノ採取セン為ニ
土人ノ発掘セシ面所多ク高ニ器物アル洞穴ハ
甚稀ナリト云フ。

① 庫車仏教遺品
支那トルキスタン庫車ヘクム上ヲチ仏洞発掘

② 壁画 大小六
支那トルキスタン庫車発掘
若の(白鑞色の髪と髭とあり)の形式冬の印度
パンジャブ土耳其式あり。

Copyright 日本建築学会

二ツノモノハ漢文字アリ
ソノ一ツハ大唐ノ文字アリ。

③ 銅小像
ガンダラ式ナリ

④ 土仏、摩尼ニテ発掘
コハ後代ノモノニテ支那式ナリ 顔ハ幽カケ容貌ヲ希求的味ナル異常深幽ノ人ヒトリ

⑤ 銅金仏頭二
夏郎トルキスタン和闐ニテ発掘
共ニガンダラ式ニテ髪ハ多クハ波浪ノ間ニ巻ケルモノト少シモ異ナラズ

⑥ 石獅 破片
支那トトルキスタンカラコウシヨウニテ発掘
印度式ナリ

⑦ 陶器破片
支那トトルキスタン和闐ニテ発掘

ロシヤ「ヨルヨ」大平ノ意アル柄アリ又アラビア式トモ解スベキ基モ多クシテ多クハ アラビア式ニ巻ケルモノガ著サレシノ意匠アリ

⑧ 西域仏像二箇

⑨ 石膏二箇
西安ニテ発掘
為ル螺髪ナル形式ノ小生像アリ

⑩ 土仏和闐ニテ発掘
美ナルガンダラ式ナリ

⑪ 塑像仏頭十一
庫車内トシンバス発掘
多少ガンダラ的意味ヲ有ス

⑫ 瓦当四箇・西安ヨリ新来
その内一箇ハ怪獣ノ紋アリ アッシリアニ起因スルコト明カナリ 或ハ印度ナリ

その他の三つハ文字を彫刻を刻す

Copyright 日本建築学会

⑬ 石仏頭部次
西安にて盛唐
二基ある釘度仏あり

⑭ トングバス木彫破片
非常に無味なるものあれども不完全にて全貌を
知る人がらず

⑮ 古文字
摩耶キャール千仏洞、和闐の河上にて得たる
もの

コノ外西水駅寺に、あるは百点あり、
その種類

① ガンダーラ彫刻の破片
② ヒンツー仏の破片
③ カピシベスツの瓦片
④ トルキスタン各地方の壁画仏像の破片
⑤ 公上土器等
博物館陳列ノモノト大同小異ナリ

○土耳其民族

トルコ民族長城の北に興り各方面に影響せり、
一方は西域を侵し、一方は漢土を侵し、東胡を駆
逐し、東胡は鮮卑あり、之れを研究せざれば、
トルコ民族の東方へ及ぼせりを知る能はず。

東胡は西洋にてツングースありと唱へ居れども然
れ共決して純ツングースに非ずして農古部子を混淆
せり、又和拔氏は土耳其語を混淆せり。
吉林、松花江辺には拔拔氏族あり、その南に
高句麗あり、今の咸鏡道には沃沮あり、これを総
称して濊貊と云ひしものにて朝鮮の祖先なり、
こは、ツングースより出でたるものなり、ツングースは
周代に於ける トルコ民族の東端は興安嶺にて
これより東は別の民族なり。

○西方民族

イルドルの北にありてスピアムの日風あり、その西には
アビシニアイ（支那人）あり、これは土耳其民族なり、
マルケ、ケ　三国志にいふ白人はこれより西にあり、ペロー
ポネスこれもまた載せて
民族のサイラ族はマルケ、ケを併合せしと云ふ、三国志に
マルケ、ケ族の東方のアルビスツの南にありて、ケ族
と同じ、この民族はビルビスツ族にあり、この部落なりし
又アルビスはイスラエルの三ツ、ありの大なりとこれも
なり、河の内に多くの島あり、地中海のレスボスあり
大なり、住民は夏は草屋を食し、木実を取て冬
食に備へ、下流は四十に分岐し、その一つを除ければ皆
海に注ぎ、一つは東海に入る、海中の人は生魚を食し
海鳥の皮を取る。
東海は非常の海にて絶り海は接ぎ、アドリアおよび
ハニ[illegible]海峡の如くあらず、ヘロドトス（後の
人は皆海は北海に通ずるものとせり）海の長さは
無行十五日程にて幅は幾き所八日程なり、西方の列山
中に無数の民族住めり。
東海の東に北方たる原野にてモンゴル大部分はこれ
ケ人の住居なり。

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

Roborovski Mars
Sieg. Ma Kigia Tartary, Yarkand
& Kashgar.

Copyright 日本建築学会

[illegible]

日韓歴史ノ関係ニ就テ

白鳥博士ノ説

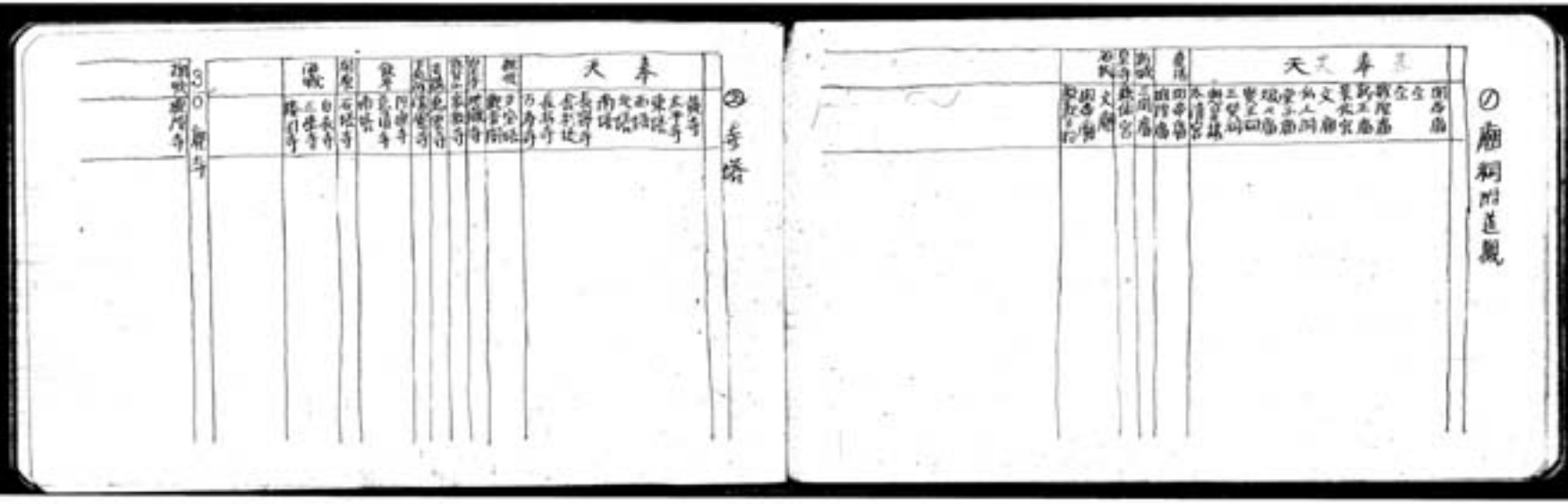
1. 朝鮮ノ半島ヲ維持スル所以ハ東洋南北勢力ノ均衡ニ在リ
2. 北方ハ漢人ノ侵入ヲ防ク
3. 日本モ亦大陸ニ対スル勢力ハ朝鮮ニ進展ス勢力ノ為ニ外ナラズ
4. コハ二民族ガ互ニ競フテ二韓ヲ征ス
5. 次ニ王家ト貴族トノ勢力ノ為ハ外ナラズ
6. 長者ノ為ニ貴族ト王家トハ敵対セル事例外ナリ
7. 徳川ノ政権モ亦王家ヲ敵ニセンカ為ナリ. 南朝ハ王家ノ為ニ一家ノ為ニ外ナラズ.
8. 維新ノ機コノ二元ガ一元ニ帰セントスルガ為ニ起ル事ナリ.
9. 然ルニ最近ノ二元ハ時勢ノ為ニ[illegible]
10. 故ニ朝鮮ガ日本ニ帰スルハ当然ナリ.

市村博士

1. 唐ハ何故ニ朝鮮ヲ攻ザリシヤ?
2. 元ハ何故ニ……?
3. 明ハ ?
4. 清ハ ?
5. 南北勢力ノ為ニ
6. 一ハ朝鮮ヲ半島ノ為
7. 一ハ支那思想ガ侵略ヲ好マズ王者ハ夷狄ヲ除ントスル為ナリ.
8. 倒幕ハ正当防衛ノ為ナリ 外夷ヲ支那ニ順ハシメ之ヲ滅サザルナリ.
9. 朝鮮滅亡ノ原因ハ地理的風俗ガ文明ノ為ニコワレタル為ナリ
10.

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会



㊀ 寺塔

| | | |

Copyright 日本建築学会

㉔ 回教寺

寺
天

宮室及住屋等

㉕ 陵墓

㉖ 戦場

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

⑨ 鎧、塚、竹貝

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

[illegible]
(1) 大王寺
(2) 日吉神社
(3) 高尾滝
(4) 鵜川ノ島
(5) 天山ノ月
(6) 高塚 [illegible]名之里
(7) [illegible]
(8) [illegible]七松
(9) [illegible]
(10) [illegible]
(11) [illegible]
(12) [illegible]
(13) 向洞
(14) 三河八橋

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

十日 朝岡田氏ハ律ハ成彰文署ニ至リ通牒一応ハ諸方ヲ廻リ内外ヲ研究ス大ハ時ハ
明ヲモテレ年始病ハ帰ヲ出発ノ用意ヲナス。岡田氏ハ大連病院ニ泊マルトノ院長山
本氏ハ深夜ヲ無シカ所ヲ秋山三才等西正ノ大連ニ帰ハヲ岡田氏ノ説明ニヨリ
ヲ相知ル四時四十分ノ汽車ニテ金州ヲ出ル夜大連病院ニ着ス。山本院
大宗ヲ歓迎シ。院長ナ家ヲ閣下ヲ始ヲ尊殿大方ナル。為ニ宴ト接客ノ模
セリ。快限ナシ。

十二日

十三

十四

十五

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

Copyright 日本建築学会

二十五世 早苗ヲ出ス、芝ノ愛宕ハ西北ナル 関帝廟ヲ見ル大破シテ見ヘタリ、来ル太
平寺ヲ過ギ寄ル郷ノ休息シテ再ビ外出ス、先ツ成城ニ至リ文淵閣ニ登リ史ノ宝蔵
ヲ見テ帆中寄ニ入リテ酒ヲ取リ走リテ再ビ文淵ニ登リテ碑ヲ拓ノ取ル、弾道大砲公
(後二)半晩十時(二元)ヲ鐘ヒテ寄ニ帰ルハ日暮ル
茶飯食ヲ取リテ休息、後仕事トリカヽル
今日第二兵閥教練ノ文事ニ一行ヲ芳宗ヒテ長氏ノ外皆騎ヲクスカト思ヒ入ル
モシルヘシトセリ教氏モ騎馬ヲカ 中村氏法服ヒタリ
今日中村氏 日ノ文科ノ工科ノ多 知識ヲ得タルヲ二ツ 一ハ青島ニヒテ独ハ
独サト海ハ然ルニ二法ナレハ中村氏ハ使命ヲ果セリヲ得タリシナリ

Copyright 日本建築学会

十七日 午後七時三十分敦化ニ着ス。小時間ヲ費シ[illegible]プラットホームニ出ル。一行大ニ歓迎ニ[illegible]警官ガ[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]ヲ

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

中ノ方ノ村ニ帰ル。夕食ハ酒ヲ以テ食ヒ、歓笑シ、快楽シタリ。夜ハ[illegible]

九月 今日ハ天ノ晴ニ七時頃発ス。[illegible]

十月 [illegible]

十一月 [illegible]

Copyright 日本建築学会

日誌

十月[illegible]日 午後[illegible]部ヲ引ク[illegible]野君ト共ニ[illegible]ヲ[illegible]ス[illegible]野氏[illegible]

[illegible]日 午前[illegible]ヲ[illegible]ス[illegible]

[illegible]日 午後[illegible]ヲ[illegible]ス[illegible]

八日 晴ノ[illegible]フレタ[illegible]ヲ[illegible]ス[illegible]

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

大津市伊勢屋町　あ表町筋
大阪市西区内淀路町二丁目三番地
内義虎次郎
中区長柳町四十三番地
市木清次郎
南区葛町六十三番地
鳥居利兵
南区北山通山崎四番地
大里武八郎

Copyright 日本建築学会

清國滿州　第十五卷

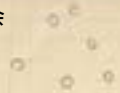
清國
滿州
第十五卷
明治三十八年　第十五冊

Copyright 日本建築学会

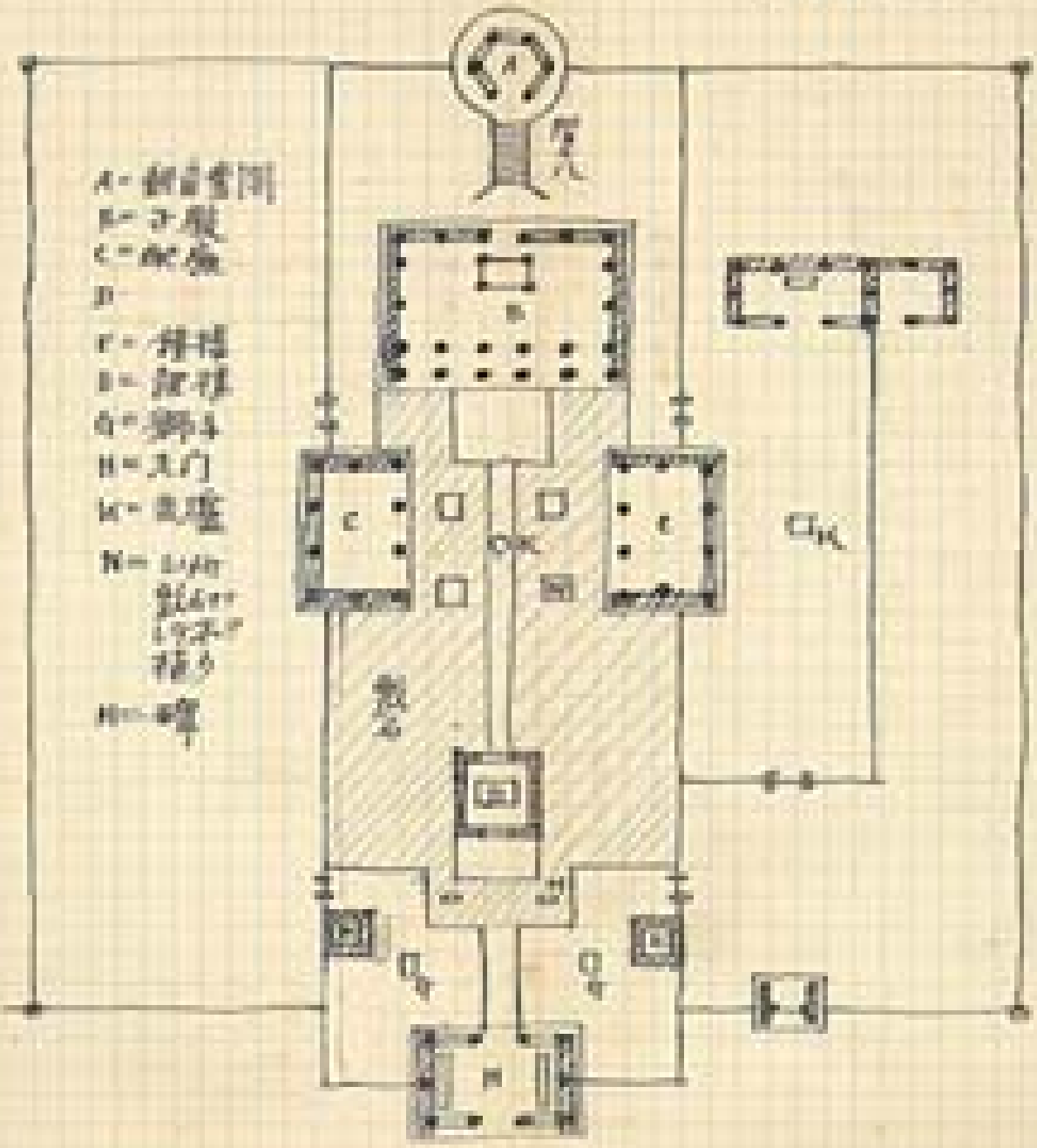
Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会



Copyright 日本建築学会



Copyright 日本建築学会

(1) 大銅器ノ発見ハ、銅器ノ内外漢代ノ文様ヲ有スルカ、

(2) 支那美術史及支那古代美術史等ノ一部参考、コノ点ヨリ見ル

(3) 支那美術ハ発祥地及地方ニ於テ、西域ト交通、特ニ仏教伝来ヨリ一変スル7日本ニ全シ

(4) 唐ニ於テ大成シタル美術ハ漢ニ渡来シ来リ、特ニ朝鮮及漢人間右ノ文化時代ハ周漢ナリ

(5) 周漢ノ遺物ハ金石ナリ、遺品ハナシ、石ハ武梁祠及石闕ノ如キアリ、金ハ銅器ニ於テ見ルベシ、

(6) 金石書、西清古鑑、博古図ハ見ルベシ、須西清古鑑アリ、原品ハ奉天宮殿ニアリ、

(7) 奉天ノ位置、宮殿ノ位置、既既陶及和風陶ノ遺物、乾隆ノ集ムル所ノ

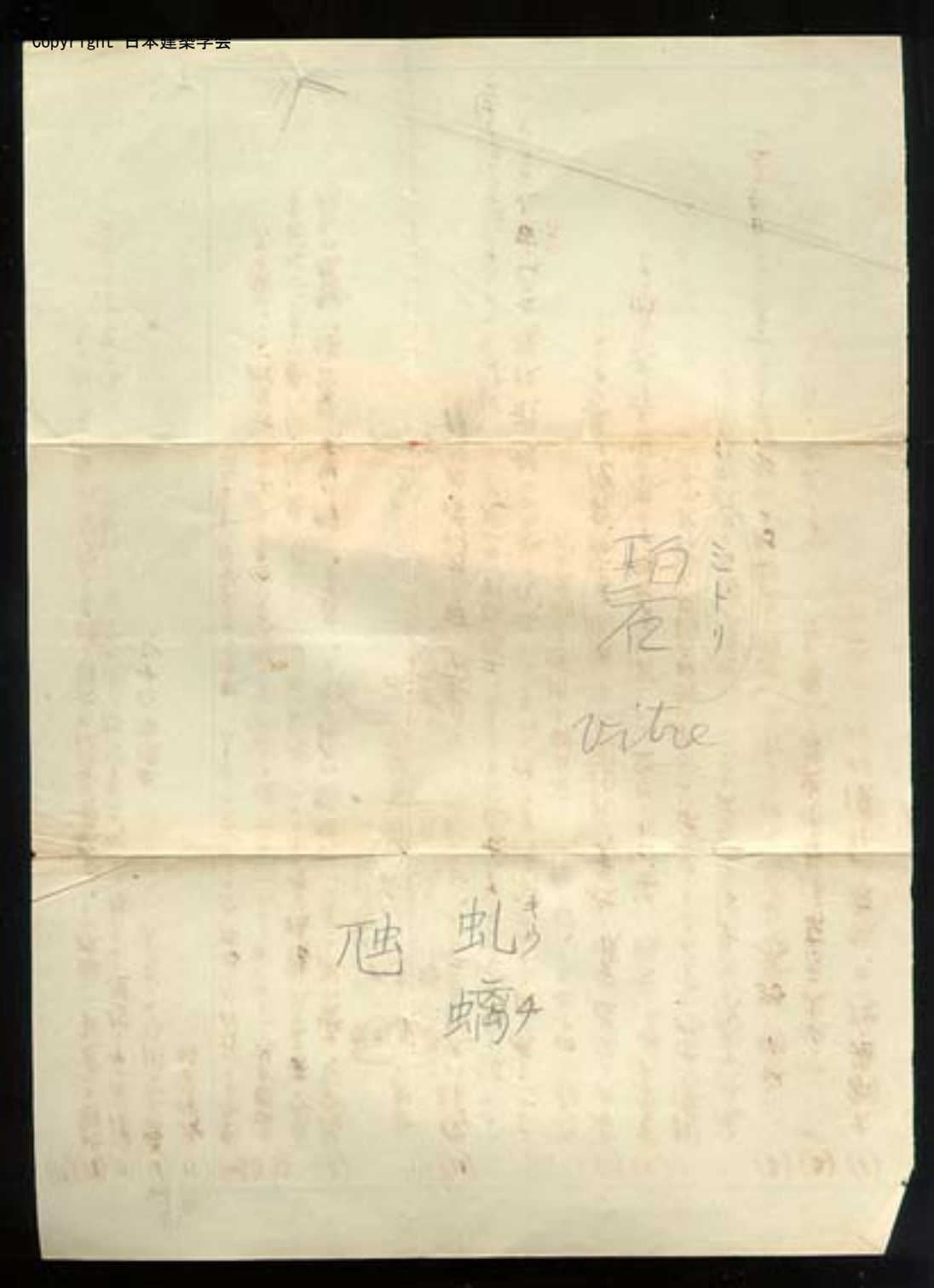
(8) 発掘ハ四十七アリ、日ク何ト……（々区別ト用途ノ研究ヲ要ス）

(9) コレニ（々区別ト用途）ノ研究ヲ要スベキカ、陵墓多ク後天ヘカラス、年代ノ知ルヘキハ銘、形、紋様、古色、色（赤）、北ヨリ見ル

(10) 紋様ハ大別シテ三トス、曰ク動物、曰ク自然物、曰ク幾何学的紋様

(11) 動物 — 鳥類（鳳、鶴、鶴、鶴

Copyright 日本建築学会



Copyright 日本建築学会

愛親覺羅氏

肇祖原皇帝

長 充善

次 福寧

長 孟羅

次 孟義謨

三 穆實爾哈

興祖直皇帝

長 德世庫

次 劉闡

三 索長阿

四 景祖翼皇帝

五 包郎阿

六 寧吉貴

寧古塔貴勒の孫と云ふ説あり

長 禮敦巴圖魯

次 額爾袞

三 界堪

四 顯祖宣皇帝

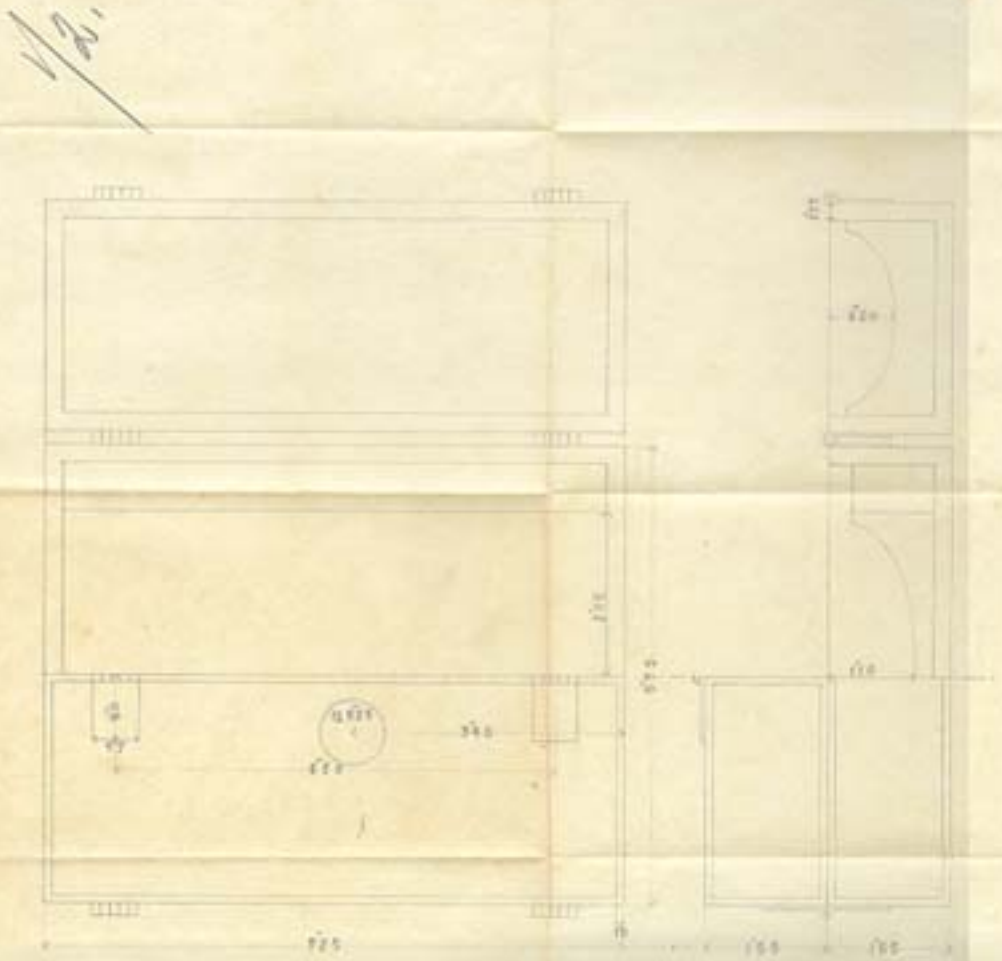
五 塔克岱

太祖高皇帝

諱ヌルハチ

明の嘉靖三六年に生

Copyright 日本建築学会



Copyright 日本建築学会

一金字蒙古文藏經　六十六函　奉天　六十
一紅印本蒙古文藏經　百八函　日　六十
一西番文藏經　百七函　日　六十
一の藏　絵本　絵千卷　日　六百卷
滿蒙漢番　陳仁錫本　日　六十
西番文首楞嚴經　二卷　日　六十

知勁草堂

Copyright 日本建築学会

Copyright 日本建築学会